

水質汚染が私たちの生活にどのように影響してくるのか調べました。

水質汚染とは？

川や湖、海などの水質が悪化することです。原因の一部として産業排水や生活排水が挙げられます。水質汚染の基準は化学物質や有機物、濁り具合などさまざまです。

産業排水と生活排水について

産業排水

有害物質が含まれた水が川や湖に流れることによって水質汚染が起こります。代表的な例として水俣病やイタイイタイ病などがあります。

生活排水

台所やトイレ、洗濯などの生活で発生する排水のことを指します。現代の水質汚染の原因の約70%を占めています。

水質汚染の現状

世界では、水質汚染により約20億人が安全な水を利用できていません。

日本では、国土交通省の報告によると、約990万人が污水处理施設を利用できていない状態であり、いまだに未処理の水が河川に流れている地域が多くあります。



水質汚染への具体的な対策

具体的な対策として「水質汚濁防止法」が1970年に制定されました。工場などに対して一律の排出基準が設けられています。近所の琵琶湖では、厳しい基準が決められており30年前から「琵琶湖一斉清掃」という活動が行われ、500万人以上が参加をしています。

滋賀県ホームページより引用

更に

家庭でできる簡単な生活排水の対策

- 食べ残しをしない（食品ロスも減る）
- 油汚れをふき取る（再利用する）
- 洗剤を使いすぎない（適量を守る）
- 細かいゴミを流さない（野菜の切り屑など）
- ゴミの分別をしっかりと行う

